

若 鮎

桧木内中学校報 No.20
令和7年10月1日(水)

学校教育目標

「元気・温もり・感動」を伝える桧木内中学校

10月、神無月になりました

10月をなぜ「神無月」と呼ぶのか調べてみると、いろいろな説があるようでした。まず有名なのは全国の八百万（やおよろず）の神々が、旧暦10月に島根県の出雲大社へ集まり、翌年の縁結びや天候などを話し合う「神議（かみはかり）」を行い、他の地域には神様が不在になる。その結果「神無月」と呼ばれるようになったという説です。しかし、これは平安時代以降に広まった俗説とされているようですが…。



また、「神無月」の「無（な）」は「ない」ではなく、古語で「の」にあたる連体助詞とする説がありました。つまり「神の月」という意味で、神々をまつる月という解釈です。その他にも「雷が鳴らない月」＝「雷無月（かみなしづき）」が転じて「神無月」になったという説。新穀で酒を醸す月なので「醸成月（かみなしづき）」が語源という説もあるようです。どれも興味深く、また、説がたくさんあるということは昔から10月は1年の中でも重要な月だったということでしょう。

さて、10月は本校にとっても重要な月です。まもなく行われる清流祭はもちろん、前期と後期の切り替わりの月でもあります。前期の終業式には一人一人に通知表が渡ります。前期の成果を確認して後期につなげられる「神無月」となるように願っています。

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動に合わせて本校も桧木内小学校前であいさつ運動をかねて街頭指導を行いました。地域の防犯協会の方々や駐在さんも一緒に参加してくださいました。夕暮れが早くなり、自動車や自転車の運転には十分注意していきたいものです。



この日は、前日の天気とは一変して雲一つない秋の空。
「『秋天に われがぐんぐん ぐんぐんと』高浜虚子」元気なあいさつが響き、さわやかな一日のスタートとなりました。

日曜日は「清流祭」

5日（日曜日）は清流祭です。部門毎に準備を進めています。その進捗状況をホワイトボードに掲示してあります。今のところ1番進んでいるのが女子ダンスで85%、遅れているのが全校合唱のようです。それでも当日まですべての部門が100%になることでしょう。準備万端でお待ちしておりますので是非お越し下さい。

第1部 6月5日	第2部 6月6日
執行部 60%	全職員 31%
吹奏部 65%	部員 60%
運動部 65%	生徒 60%
全校ダンス 72%	
女子ダンス 41.8%	
女子ダンス 51%	